

リアルヘルプマン!! を探せ!

熱血漢で正義感が強く、おつちよちよいだけと憎めない——。そんな主人公・恩田百太郎が介護の現場で奮闘する「ヘルプマン!!」の舞台は、あなたの街にもきつとあるはず。リクルートキャリア社の介護ビジネス応援サイト「HELPMAN JAPAN」(<http://helpmanjapan.com/>)の協力を得て、毎月1回、リアルな「ヘルプマン!!」を紹介します。

撮影 中村繁介



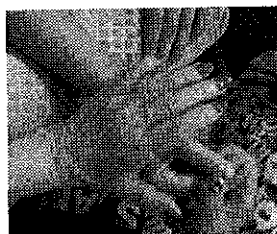
津田さんの一日

7月12日 9:00 利用者との語らい



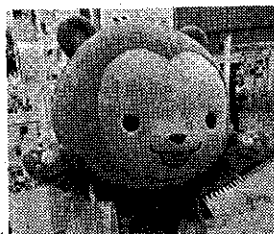
利用者と会話し、気持ちに寄り添うような心がけている。この日はホオズキの鉢植えを見て小さい頃の遊びについて話が広がった

10:00 世代を超えた女子の楽しみ



この日は山本さんとネイルアートをして楽しんだ。SMAPなどアイドルの話題で盛り上がり、女子トークに花が咲く日もあるという

14:00 就職フォーラムで事業所をアピール



介護・福祉職の求人を募る就職フォーラムに参加。着ぐるみを着て、介護職の面白さやユアハウス弥生の良さをアピールするのに一役買った

津田夏帆さん (19) 株式会社ケアワーク弥生 小規模多機能型居宅介護 ユアハウス弥生 (東京都文京区) 介護スタッフ

山本勝子さん (81) 利用者

高校1年生で中退し、「人を教わり、助けられたという。山本さんは認知症だが、食事の準備や身の回りのことを自分でできる。認知症といっても元氣だし、その人の個性も生きているんだ」と高齢者を見る目が変わるきっかけにもなった。津田さんは今年4月、大学の看護学科に入学した。

「ここを辞めたら居場所がない」ともかいていたとき、山本勝子さんに食器をしまう場所や仕事でわからないこと

平日は福祉の資格取得をめざして学業に励み、事業所には週末に出勤している。「周囲の大学生にも介護職の面白さを伝えられたらと思っています。音楽療法や介護ロボットを勉強している他分野の人を巻き込み、将来の福祉を支える人員を増やしたいですね」

ライター 三浦寛代子

HELPMAN JAPAN

「リアルヘルプマン!! を探せ!」に登場していただける介護スタッフと利用者を募集しています。百太郎のように情熱に燃える人を誌面で紹介します。〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 週刊朝日編集部「リアルヘルプマン!!」係まで。ファクス (03-5541-8820)、電子メール (wa@asahi.com) でもどうぞ。